



▲兵庫県歯科医師会から表彰されました

三寒四温を繰り返しながら、日ごとに春めいてまいりました。一步外へ出れば春爛漫。春の日を楽しみましょう。

◆3月25日兵庫県歯科保健文化功労賞の表彰式が行われました。2団体2個人が受賞し、播磨町は団体の部で表彰状をいただきました。これまで行ってきた歯科保健衛生などの取り組みが評価された結果であろうと思います。乳幼児の1歳6か月健診でRDテストを導入した結果、3歳児の虫歯率が減少しました。妊婦歯科検診もいち早く取り入れ、妊娠期の口腔衛生健全化を図っています。保育所での食育支援「カミカミ教室」の実施、歯周病の個別健診、「歯肉炎の予防の日」を4月29日に定め「風薫るフェスタ」でも啓発に努めるなど、歯を大切にすることで得られる健康づくりを進めています。

◆3月30日の新聞報道で、播磨町の蓮池小学校、播磨中学校が耐震診断の結果、県下における危険性の高い建物の一つとして報道されました。しかしながら、記事の説明には不十分なところがあり、子どもたちや保護者に不安を与えかねないことから、少し補足をさせていただきたいと思います。播磨町では校舎、体育館など文部科学省の基準に従って、いち早く耐震化工事を実施し、耐震は早期に完了しております。しかしこのたび新たに国交省から新基準が示され、3,000㎡以上の建物に接続する渡り廊下なども対象とされました。調査をしたところ、播中の現在使用されていない渡り廊下、蓮池小の渡り廊下・給食棟が新基準を満たしていないことが判明しました。すでに播中の渡り廊下は本年度中に撤去、蓮池小については本年度基本設計、31年度に工事を予定していたところ。年間多額の予算を費やして、学校の施設整備、安全対策に努めています。

播磨町長 清水ひろ子



青年海外協力隊の活動を終えた丸岡さんが、フィジー共和国での活動を町長に報告

企画グループ ☎079(435)0356

青年海外協力隊メンバーとして、2年間フィジー共和国(オセアニア)に赴任していた、丸岡ひとみさん(小学校教諭)が、町長を表敬訪問しました。言葉があまり通じない生活のなかで、伝えようとする気持ちが大事だということを実感されたそうです。

現地での学んだことを生かし、教育現場に還元できればとお話しされました。



▲青年海外協力隊の活動報告をうかがいました

第5回ユニバーサルスポーツ交流大会

福祉グループ ☎079(435)2361

3月26日播磨町総合体育館で第5回ユニバーサルスポーツ交流大会を開催しました。参加人数は過去最高で、障がいの有無に関わらず、子どもから大人まで約150人の参加があり大盛況のイベントとなりました。

参加者は、シッティングバレー(パラリンピック公式種目)、フライングディスク、フロアホッケー、スラックラインの4種目を体験しました。中でも好評だったシッティングバレーでは、日本代表選手を含むチーム「兵庫LSC」の選手からの指導も受けながら、中学生や高校生ボランティアなどでチームを組み、いろいろな人とふれあいながら競技を楽しみました。



▲フロアホッケーも体験

避難所運営訓練を実施しました

危機管理グループ ☎079(435)0991

大規模な災害が発生した際、学校体育館などにおいて、避難所が開設される場合があります。播磨町では、避難所の開設をスムーズに進めるため、また地域による自主的な運営が可能となるよう順次マニュアルの作成に取り組んでいます。

平成27年度に播磨小学校でこのマニュアルを作成したことから、その検証を行うため、2月25日に、校区の12自主防災組織や播磨町自立支援協議会、播磨町社会福祉協議会などの関係団体の協力のもと、132人に参加していただき、避難所運営訓練を行いました。

朝9時頃に地震が発生したとの想定で、地震の揺れから身を守る行動を行った後、地域の一時避難場所に集合し、安否確認を行い、播磨小学校グラウンドへ、避難を行いました。

訓練参加者は、町職員などと協力して避難所の開設訓練、災害時用備蓄食料を使用した炊き出し訓練、仮設トイレの設置訓練など、時間と共に発生する様々な課題への対応に関する訓練を行いました。

また、播磨小学校に隣接している播磨町福祉会館を、災害時に特別な配慮が必要な人が入所する「福祉避難所」として指定していることから、福祉避難所の開設訓練もあわせて行いました。

播磨小学校に避難された人の中から、特別な配慮が必要な人を調査し、播磨小学校での避難所生活が困難と判断された人を対象に福祉会館へ移送するなどの対応を行いました。



▲炊き出し訓練の様子

公民館まつり開催

中央公民館 ☎079(437)6980

3月10日から12日まで公民館まつりが開催されました。10、11日は17サークルの作品が展示され、仏像彫刻、メキシカンフラワー、洋裁、押し花、和裁の各教室は、来場者に体験をしていただきました。12日には21サークルが舞台発表を行い、会場にはたくさんの温かい拍手が響き渡りました。またロビーで、各サークルの活動で制作した作品のバザー、フリーマーケット、福祉バザーも行われました。和室においてもお茶席が設けられました。



▲ダンスの発表

今年も多くの人にご来場いただき、賑わいのある公民館まつりとなりました。



▲ロビーでのバザーのにぎわい



ふくしま 2歳
福島 陸人くん
(古田)

これからも元気な笑顔を見せてね
(父・母より)

楽屋裏
 施政方針のページに帆船「日本丸」の写真を掲載しました。21年前に播磨町に寄港した時の写真です。当時を知る人にとっては、写真とともにさまざまな思い出がよみがえってくるかと思えます。当時小学生だった子どもは、もう親になつていても見れません。2世代の家族で船を見に行つた人は、今年3世代で見に行けるかもしれません。今月号は、「記憶に残るまち播磨町」と掲げて平成29年度の施策と予算をご紹介しています。町制施行55周年記念事業はもちろんです。日々の暮らしの中でも記憶に残るこのまちの出来事を大事にしたいと思います。(宮)